

12月議会

厚生委員会で、陳情4件の審査をおこないました

12月羽村市議会は5日にスタートし、さまざまな審議がすすめられています。今回は、11日におこなわれた厚生委員会についてお伝えします。厚生委員会では、市民からの陳情4件の審査などがおこわれ、鈴木議員が出席し、意見をのべました。

ことばの解説

「陳情」(ちんじょう)

市民から、市役所や議会にたいして、提出される要望書です。誰でも出せ、議員の紹介も必要ありません。

「趣旨採択」

(しゅしさいたく)

通常、陳情にたいしては、採択または不採択が決定され、議会としての意思決定がなされますが、その中間として「陳情の趣旨は理解できる」との理由で決定されるのが趣旨採択です。



2007年12月16日 No.877
発行 羽村民報編集委員会
責任者 野崎 衷
日本共産党羽村市議団のHP
<http://www.jcphanura.org>
事務所 電話 579-2132 Fax579-2106



厚生委員会

鈴木たくや 議員

保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書採択に関する陳情

<陳情内容>

羽村市において保険でより良い歯科医療が行なえるよう求める意見書を政府に提出していただきたい。

鈴木議員は採択すべきとの意見を述べました

<大要> 歯や口腔を健康に保つことは、生涯、食べ物をおいしく食べ、健康的に過ごせる保証である。しかし、歯周病の管理や入れ歯の作成などの「診療報酬」が引き下げられ、国民の健康を守るという政治の役割が投げすてられている。

また、診療報酬の引き下げは、医師・衛生士などの労働環境をきびしくし、将来の歯科医療確保にとっても不安材料となる。

適切な医療は、結果として医療費の抑制にもつながる。以上の理由から本陳情を採択すべきである。

<この陳情は、厚生委員会で趣旨採択されました>

原爆症認定制度の抜本改善を求める意見書採択に関する陳情書

<陳情内容>

原爆症認定審査が、原爆被害の実態にみあった制度に改善されるよう、国に対する意見書を提出していただきたい。

鈴木議員は採択すべきとの意見を述べました

<大要> 「国が原爆症の認定を却下したのは不当だ」と訴えた集団訴訟で、6つの地裁判決すべてが国側敗訴となった。

国は、原爆の初期放射線だけを対象にした認定方式に固執しているが、6つの判決では、遠距離被爆者、入市被爆者についても認定すべきだとしている。

国は6地裁すべてについて高裁へ控訴しているが、判決と被爆者の要求を正面から検討し、制度の抜本改善に踏み切るべきである。

<この陳情は、厚生委員会で採択されました>

裏に
続<